

平成26年6月 日

まちづくりスタートアップ提案書

柴田町長 殿

（提案者） 団体名及び代表者名

柴田町点訳サークル” ほたる “岡戸 正良

次のとおり提案します。

1	提案の名称	柴田町図書館蔵書や広報紙等の点訳ボランティア
2	現状・課題	町内には視覚障がい者のための設備として、線状ブロック等が多く設置されているものの、広報しばた・お知らせ版の点訳版は無く、また図書館にも点訳された蔵書はありません。また町内の施設には、点字を示していながらも点訳を間違ったままにしている例があります。こうした状況は、視覚障がい者の方々にとってとても不自由であり、社会参加への妨げとなっています。
3	目 標	上記の状況を改善するため、広報等の点訳ボランティアを主に、公共施設への点字シールの提供や、点訳スキルをアップするための勉強会等を実施したいと考えます。 点訳された広報紙や図書館蔵書と、町内施設の点字設備を充実させることで、視覚が不自由な方の社会参加を支援します。

4	<p>スタートアップ 提案の内容 (具体的な事業内容)</p>	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴田図書館蔵書の点訳 ・「広報しばた」「お知らせ版」の点訳 ・公共施設内に設置する点字シールの提供 ・点訳スキル向上のための定期的な勉強会 <p>【概算事業費】 (3 万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務用品費 (用紙代など) 5 千円 ・印刷プリンター 2 万円 <p>(勉強会資料や点訳作業に用いる資料印刷用・ほかインク代)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費 (点字シール・ファイル) 5 千円 <p>【実施スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月 2 回の勉強会 (毎月第 1・3 木曜日) ・随時の広報しばた・お知らせ版および柴田町図書館蔵書の点訳、寄贈
5	事業の効果	<p>点訳を通じた地域福祉活動を行い、障がいのある人の社会参加を支援し、相互に協力することができる</p>
6	事業後の予定	<p>現在は少人数の会員だが、賛同者を増やして広報紙等の点訳を充実させ、福祉のまちづくりを進めたい。</p>